

中学生のみなさんへ

図書館で未知の扉をあけよう！

越谷市立図書館のティーンズコーナーには、物語はもちろんみなさんの毎日を豊かにする本がたくさんあります。あなたの未知の扉を開けるカギをさがしに来ませんか？

『世界を救うパンの缶詰』

菅 聖子／文 ほるぷ出版

今や、災害時の備えとしても有名なパンの缶詰。その発明と工夫の日々が紹介されています。

3年もおいしく食べられるだけでなく、缶詰パンを作った秋元さんは、海外で飢餓に苦しむ人々へパンの缶詰を届ける

「救缶鳥」プロジェクトもつくりました。商品を作ったらおわりではない。秋元さんの「入口から出口まで」しっかり見つめ、向き合う姿勢が、世界を救う！



『世界を、こんなふうに見てごらん』

【知識】

日高 敏隆／著 集英社

子どもの頃、虫と話がしたかった筆者は、枝を這う芋虫に「どこへ行くの」と話しかけた。芋虫は答えなかったが、それでもじっと見ていると、やがて、その先の葉っぱを食べ始めた。そうか、これが食べたかったのかとわかり、日高さんは虫と話ができたようでうれしかった。

生きものの「なぜ」を見つめ続けてきた動物行動学者が、人間や動物をみるときの豊かな見方について優しく語っています。



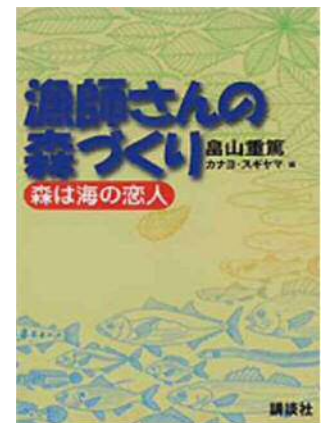
『漁師さんの森づくり』

【知識】

畠山 重篤／著 カナヨ・スギヤマ／絵 講談社

畠山さんは三陸でカキの養殖をしています。ある日、生活が豊かになるにつれ、子どもの頃に遊んでいた海が変わってしまったことに気づきます。昔のようにおいしいカキが育つ海にするには何が必要なのか？

森と川と海の関係について勉強してたどり着いたのが、漁師さんによる植林活動でした。昨年も室根の山には大漁旗がゆれ、漁師さんによる植樹祭が行われたそうです。三陸には豊かな海が広がっています。



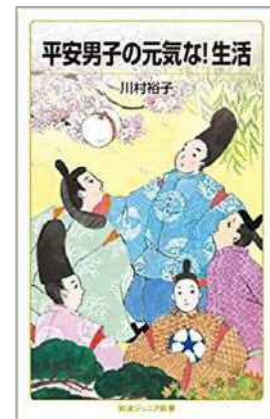
『平安男子の元気な!生活』

【知識】

川村 裕子／著 岩波書店

平安男子・藤原行成くんの朝は早い。出勤後はミカドの秘書室長として会議をまとめたり、いろいろな人にとって情報収集したり、たくさんのイベントやセレモニーを完璧にこなしたり…ずいぶんハードワーク!でも、彼はとても優秀なビジネスパーソンでした。平安男子の意外なライフサイクルを知ると、まったりと優雅なイメージがガラッと変わるかもしれません。

同じ著者の『平安女子の楽しい!生活』もおすすめですよ。



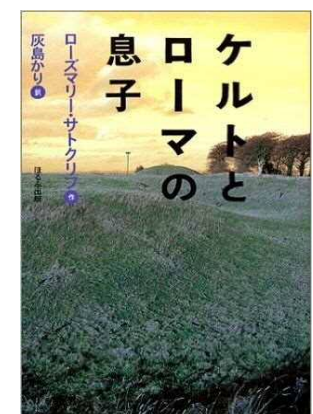
『ケルトとローマの息子』

【物語】

ローズマリー・サトクリフ／作 ほるぷ出版

ある嵐の夜、座礁したローマの船から奇跡的に助かった赤ん坊。それがベリックだった。神官はいずれこの子は災いをもたらすと予言するが、養父クノリによってベリックは、ケルトの戦士として育てられる。しかし、疫病と不作の年、予言どおりベリックが災いをもたらしたとして村を追放される。ベリックはローマを目指して旅立つが、彼の前に次々と困難が立ちふさがる。

最後にベリックが手にしたものは…



『トムは真夜中の庭で』

【物語】

フィリパ・ピアス／作 岩波書店

トムは、夏休みをアランおじさん、グウェンおばさんの家で過ごすことになりました。おじさんたちの住居は昔、一軒の大きな邸宅だった家を区切って、アパートにしたそうです。玄関ホールには、背の高い大時計がありました。ある夜、なかなか眠れないトムが暗闇で目を開けていると、大時計が13の時をうちました。「13時？」不思議に思って、大時計を見に行ったら、目の前に素晴らしい庭園が現れます。



『光のうつつえ』

【物語】

朽木 祥／作 講談社

夏の夜、川にはいくつもいくつも灯ろうが流れていく… 希未のお母さんにも、中学の美術の先生にも、近所の須藤さんにも、原爆や戦争で大事な人を亡くした現実がありました。希未たちは、「よう知っどると思うことでも、ほんまは知らんことが多い」ということに気づきます。

家族や先生たちが、語ってくれたことに向き合い、文化祭で「あのころの広島とヒロシマ」というテーマで気持ちのこもった作品を作り上げます。



『みつばちと少年』

【物語】

村上 しいこ／著 講談社

周囲とうまく関われない雅也^{まさや}は、夏休みに北海道のおじさんの養蜂場^{ようほうじょう}を手伝いに行くことにした。しかし、雅也が寝泊まりするのは「北の太陽」という、事情を抱えた歳^{かか}の違う子どもたちが一緒に暮らす場所^{とし}だった。他人と理解しあうことは難しい。それでも努力し、理解しあえる友達ができることで、実感できる世界があった。

育んだ友情が、生きる勇気をくれる物語。



『動物会議』

【絵本】

エーリヒ・ケストナー／原作 ヴァルター・トリアー／絵 岩波書店

第二次世界大戦後、各国の政府は世界平和のための会議を重ねていますが、成果がありません。怒った象のオスカルは動物たちの国際会議を提案します。4週間後、すべての動物の代表が動物ビルに集まりました。議題は「子どもたちのために!」、動物たちは二度と戦争や貧困がおきないことを要求します。

最初で最後の動物会議、人間との交渉はうまくいくのでしょうか。

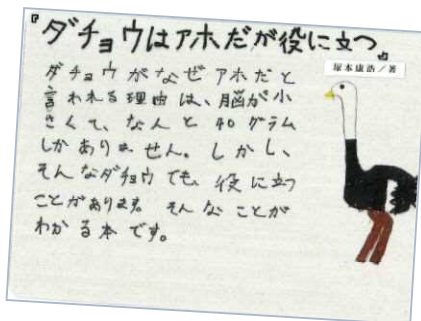


越谷市立図書館案内

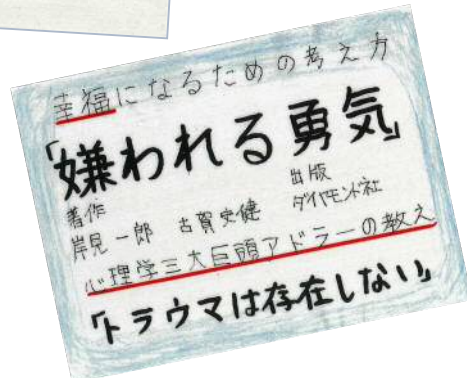


図書館のツボ

- ① パソコンやスマートフォンから本の検索や予約ができる！
電子書籍が読める！
(くわしくはホームページを見てね。)
- ② 中学生・図書委員からのポップでおすすめ展を開催！
- ③ データベースで調べものができる！
Q生まれた日にどんなニュースがあった？
(新聞記事検索)
Q渋沢栄一ってどんな声？(歴史的音源)



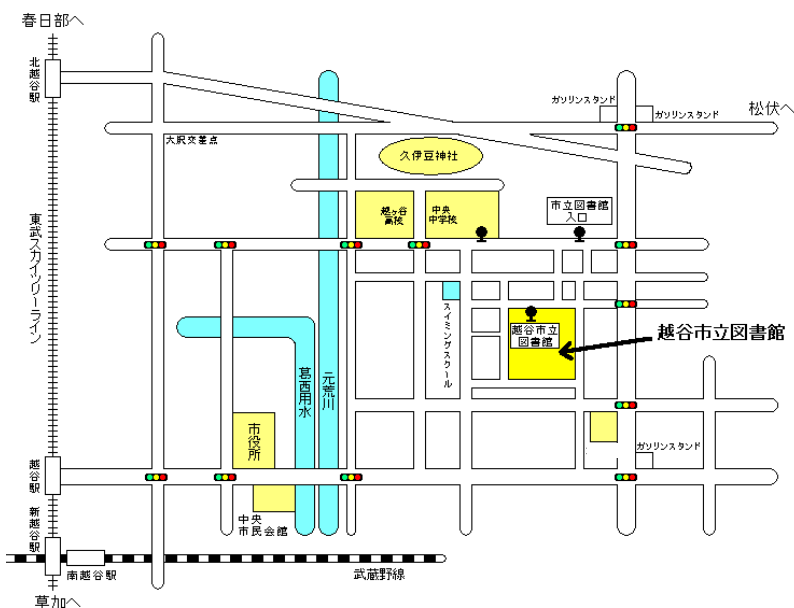
『ダチョウはアホだが役に立つ』
塚本 康浩/著 幻冬舎



『嫌われる勇気』
岸見 一郎/著
古賀 史健/著
ダイヤモンド社



『ないものねだりの君に光の花束を』
汐見 夏衛/著
KADOKAWA



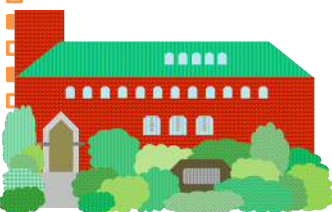
★開館時間

- ・午前 10 時～午後 7 時(火曜日～金曜日)
- ・午前 9 時 30 分～午後 5 時(土・日・祝日)

★休館日

- ・月曜日、振替休日など
- (7月19日・29日、8月31日)

※くわしくはホームページを確認してください。



越谷市東越谷4-9-1
電話 048-965-2655

越谷市立図書館 HP
トップページ



初めて本を借りるときは、「健康保険証」や「学生証」を持って行って、「利用券」を作るニャ。

